

「かかりつけ医」を持ちましょう

本院は大学病院として、急性期医療、高度医療の提供を必要としている患者さんを治療する役割を担っています。

患者さんの状態に合わせて最適な医療が受けられるよう、地域の医療機関と連携し、より良い医療を提供します。

そのために、「かかりつけ医」と相互に協力・連携し医療の機能分担を図ります。

専門的な検査や入院が必要な場合は「かかりつけ医」から「大学病院」へ。症状が安定したら、「大学病院」からふたたび「かかりつけ医」へ。

本院では「かかりつけ医」制度を推奨しています。

かかりつけ医

日々の診察・投薬
検査・相談など



紹介

大阪大学 医学部附属病院

急性期入院
(手術・放射線治療など)
節目の治療・検査



逆紹介

「かかりつけ医」とは？

自宅の近くにある地域の病院(市民病院等)や診療所(開業医)において、日々の診察・投薬・検査・病状などについて気軽に相談にのってくれるホームドクターのことです。

病状に変化があった時は？

「かかりつけ医」の診療を受けていて、病状に変化があったり、必要なときには本院で受け入れる体制になっています。

この際には、必ず紹介状をご持参くださるようお願いいたします。